

自殺予防対策の署名にご協力を！

自殺は「防ぐことができる死」です。法制化をめざして5月末まで全国署名中

議員の会
野党有志
与野

自殺防止で法案

今国会提出目指し大綱

与野党の国会議員でつくる「自殺防止対策を考
える議員有志の会」は十
五日記者会見し、国全体
で自殺防止対策を進める
ための「自殺防止対策基
本法案」（仮称）の大綱
を発表し、同法案を今国
会に議員立法で提出する
方針を明らかにした。
同会メンバーの一人で
元厚生労働相の尾辻秀久
参院議員（自民）は「そ
れぞれの党内手続きを急
いで今国会に法案を提出
し、ぜひ成立させたい」
と話し、
今回まとまった基本法
案の大綱では、自殺につ
いて「個人の問題のみに
帰せられるべきものでは
なく、個人を取り巻く社
会にかかわる課題」と規
定し、「国、地方公共団

体、事業主、国民のそれ
ぞれの責務を明らかにす
る」と強調。
国に關係閣僚會議の設
置や総合的な対策の指針
策定、対策実施状況の年
次報告書の国会提出を求
め、国や地方公共団体に
実態調査や自殺防止の教
育・啓発活動、遺族や未
遂者への心のケア、民間
団体の活動への支援など
を要望している。

（全国署名活動の翌日、国会に要請書を提出しま
したが、ついに国会議員も動きだしてくれました！）

自殺対策法制定を

大切な命 もう失わせない

自殺対策基本法（仮称）の制定を
政府や国会に求め、特定非営利活動
法人（NPO法人）の「自殺対策支
援センターライフリンク」（清水康
之代表）は十三日、横須賀など全国
七カ所で一斉に署名活動を実施し
た。今後、三万人の署名を集め、国
に提出するという。
ライフリンクは、国内の自殺者が
八年連続で三万人を超えようとして
いる日本の現状を「異常事態」と指
摘。署名を集めることにより、事態
の深刻さを国が認識し、実効性のあ
る自殺対策や自殺対策の法制化を進
めていくことを求めている。
京急線横須賀中央駅前広場（Yデ
ッキ）では、ライフリンクの会員ら
がチラシを配り、法制化の必要性を
呼び掛けた。会員の大
塚妃呂子さん（28）は「私
も大切な友人を自殺で失

った。国を挙げて自殺
対策に取り組む必要が
あると痛感している。
社会的な対策を講じる
ことで自殺を防ぎた
い」と話していた。

この日、署名活動が
行われたのは、神奈川
県（横須賀市）のほか、
秋田、東京、京都、大
阪、福岡、佐賀。横須
賀は市が自殺予防のリ
ーフレットを作製・配
布するなど積極的な取
り組みを実施している
ことから活動拠点の一
つに選ばれた。

署名活動に取り組むライフリンクのメ
ンバーら
|| 京急線横須賀中央駅前



NPO法人、横須賀などで署名活動

この日、署名活動が
行われたのは、神奈川
県（横須賀市）のほか、
秋田、東京、京都、大
阪、福岡、佐賀。横須
賀は市が自殺予防のリ
ーフレットを作製・配
布するなど積極的な取
り組みを実施している
ことから活動拠点の一
つに選ばれた。

（石曾根 剛）

（上：僕たちの署名活動を報道した5月14日・神奈川新聞、右：5月15日日経新聞。マスコミも注目しています）



こんにちは、市議会議員の藤野英明です。心理学を専攻し、精神保健福祉士でもある僕は、自殺を無くすことが最大の目標です。これまで本当にたくさんの方々の悲しみの声を聞いてきました。日本では自殺対策がとても遅れています。しかし、自殺は「本当は防ぐことのできる死」なのです。例えば自殺の多かったフィンランドでは国をあげて対策にとりくんだ結果、10年間で20%も自殺を減らすことができました。わが国も対策を法律にしてきちんと対策に取り組むことで、必ず自殺を減らすことができるのです。そこで、NPOと共に「自殺対策の法律化をめざした署名活動」を5月末まで行なっています。どうかご協力お願いします！

裏が署名用紙になっています。受け取りに伺いますのでお電話下さい（080-6584-0010、046-824-3162）